

さくらに木

(題名は校歌より)

さいたま市立宮前小学校

学校教育目標

- ・本気で勉強しよう
- ・心を見がき、体をきたえよう
- ・人のためになろう

在籍児童数669名 学級数25

持続可能な社会のためにできること

校長 高田 信太郎

この時期は、晴天も多く、雪で白く輝く富士山が宮前小学校からもよく見えます。今年の冬は、例年に比べると気温が高めの日が多いようです。学校のプールの水が、全面凍ったのは、今年はまだ、たった1日しかありません。

そんな冬の寒い朝、登校してきた子が、ロータリーの植え込みを見て何かを探していました。すると、霜柱を見つけ、「こんなに大きい霜柱を見つけたよ。」と見せてくれました。昔は、朝、だれも踏み入っていない霜柱が立っている土の上をザクザクと歩いて楽しんでいましたが、今は、そうした機会も少なくなっていました。寒い冬からも、子どもたちは、いろいろなことを見つけて学んでいるようです。

1月20日(土)は学校公開日でした。多くの保護者の皆様に授業の様子を参観していただきました。また、1年生は、地域の方を講師に招き、昔遊びを行いました。コマ回し、ヨーヨー、けん玉など、なかなか上手にできなくても、熱心に教えていただき、少しでもできるようになると子どもたちは笑顔になります。今のゲームなどと違う昔の遊びの楽しさにも、気が付いたようです。今年も、地域の方々との関わりを通じた活動を行っていきたくと考えています。

明日から2月、今、店頭には恵方巻をよく目にします。かつては、関西圏で節分に恵方の方角を向いて丸かぶりする風習がありましたが、30年前頃から、経済効果が大きいこともあり、全国的に広がっています。その一方で、数年前からは、恵方巻の食品ロスが問題となっています。最近では、事前に予約をするなどして、できるだけ廃棄される量を減らす工夫もされているようですが、賞味期限のある食べ物を減らすためには、社会全体で取り組んでいかななくてはならない問題です。

昨日の朝会で、子どもたちに食品ロスを例にSDGsについて話をしました。本校では、食育を中心にSDGsについて取り組んでいます。SDGsのロゴは、目にする機会も多く、社会全体に浸透しています。

しかし、行動できているのかどうかについては、十分ではない面もあります。最近、コンビニのお弁当の棚には、「手前どり」の表示があります。すぐに食べる場合は、手前の賞味期限が近いものから取り、食品ロスを減らしていこうという取組です。このように、SDGsについて関心をもって生活を見てみると、気が付くことも多くなります。みんながみんなのことを考え行動していくことが大切です。ちょっとしたことからでも、自分から進んで行動できる子どもたちになってほしいと思います。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

